

# ユニオンファンド 月次レポート

第 179 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2023年10月5日作成

## MONTHLY TOPIC

### 第 15 期決算を迎えたお礼、および未来への投資について

ユニオンファンドはお陰様でこの10月2日に第15期の決算を迎えました。日本では、解約（換金）の増加で運用資産残高が減少し、償還されてしまう投資信託が少なくありません。こうした現状を見ますと、ファンドの運用が始まった2008年10月20日以降、お客様から資金が毎年流入し続けたというのは本当に素晴らしいことです。ユニオンファンドが長期の資産づくりのために作られたという主旨をご理解いただき、その主旨に沿って長く利用してくださっている多くのお客様のお陰にほかなりません。厚いご支援に改めて心からお礼を申し上げます。

#### 変化の大きさには目がくらみず

ところで、ユニオンファンドのスタートに前後して世の中に登場したのがスマホです。初めて見たときは、その真っ平らな形状に「使いにくそうな携帯電話だなあ」という印象しか持ちませんでしたが、今ではスマホなしの生活は考えられないほどです。わずか15年前には存在していなかったというのが不思議に思えます。

ややこじつけっぽいですが、15年の2倍の30年前に外国株の運用をしていたころのことを思い出してみました。当時は、米国の経済新聞「ウォールストリートジャーナル」の西海岸版と東海岸版がそれぞれ2日か3日遅れで届いていたのですが、今ではどこにいてもインターネットで即座にアクセスできますし、株価も、グラフ用紙に手で書き込んでいたものが、今は布団に横になってリアルタイムで見ることができます。パソコンにダウンロードできる数値データさえあれば、50年分でも100年分でも、あっという間にグラフが描けます。

#### 未来に向けて投資するとは

私の周りだけでもこれだけ大きく変化したのですから、15年後、30年後の世界がいったいどんな姿になっているか想像もつきません。少々怖い気もします。確かに私たちには、予測できない未来に向かって投資をしているという面があります。しかしそれは決して無茶でも無謀でもないと思います。「株式に投資しているのではなく企業に投資しているのだ」と何度か書いてきましたが、その企業を動かしているのは人間です。突き詰めれば、「人に投資している」と言っても良いでしょう。「株式投資とは、これから人間が作っていく未来に期待する」ということでもあると思います。私は、短期ではしばしば慎重ですが、人を信じられるという点で長期楽道家です。時々大馬鹿をしでかすでしょうが、必ずそれを上回る良いことも成し遂げてくれることでしょう。今後の世界が楽しみです。

投資信託は今から155年前の1868年（明治元年）に英国で初めて発売されたとされています。名前と商品内容を変更しつつ運用は今でも続いているようです。それに比べればユニオンファンドの歴史は始まったばかり。これからも皆様と一緒にしっかり着実に歩んでいきたいと願っています。今後も引き続きよろしく願いいたします。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2023年9月末現在)

## 基準価額

33,731円

## 純資産総額

119億32百万円

## 期間別騰落率(%)

|     |         |
|-----|---------|
| 1ヶ月 | -3.05%  |
| 1年  | 18.13%  |
| 3年  | 38.77%  |
| 5年  | 36.02%  |
| 10年 | 88.95%  |
| 設定来 | 237.31% |

## 複利年率(%)

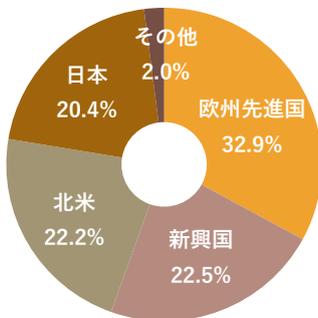
8.47%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

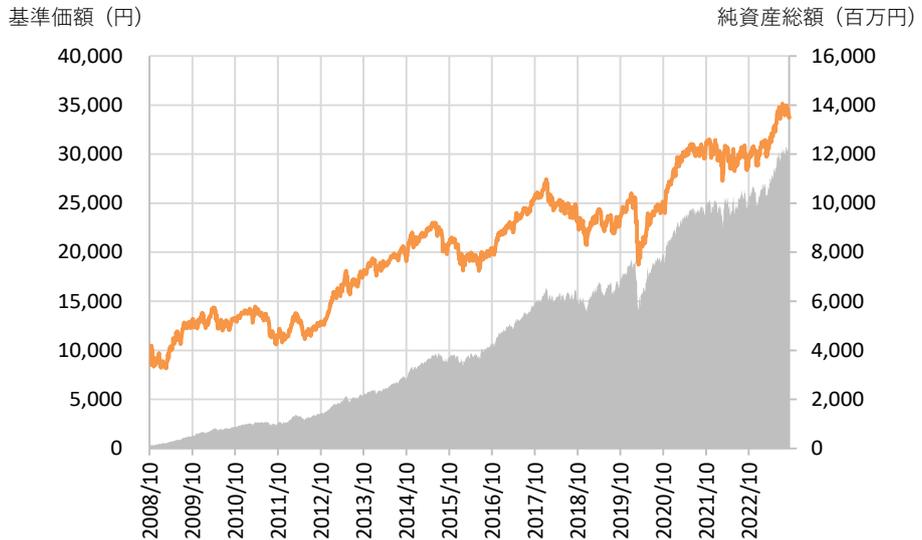
\* 設定来、分配の実績はありません。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2023年8月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



## 組入ファンドの内訳

| ファンド名          | 主な地域 | 組入比率(%) | 月間騰落率(%)※ |
|----------------|------|---------|-----------|
| さわかみF          | 日本   | 4.9%    | -0.7%     |
| スパークスF         | 日本   | 12.4%   | -1.8%     |
| キャピタルF         | 欧米   | 18.6%   | -3.0%     |
| ハリスF           | 欧米   | 19.7%   | -3.5%     |
| コムジェスト・ヨーロッパF  | 欧州   | 11.7%   | -7.9%     |
| コムジェスト・エマージングF | 新興国  | 18.5%   | -2.6%     |
| 現金等            | -    | 14.2%   | -         |

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2023年9月の市場動向と運用状況

## 投資環境

9月の世界の株式市場は、前半こそまずまず堅調でしたが、後半失速し、全般に下落しました

米国市場では、自動車労組のストライキや政府機関の閉鎖懸念などが株式市場の足を引っ張りましたが、軟調だった主な理由は景気と金利を巡る警戒感が高まったことだと考えられます。景気は全般に減速傾向をたどっている一方、原油価格の反転上昇などからインフレ率の低下ピッチが鈍っており、金融引き締めが長期化すると懸念が強まりました。

欧州株は、米国ほど下がりませんでした。景気はかなり速いピッチで悪化しており、改善傾向にあった企業業績も下方修正が優勢となってきました。日本株は、TOPIX（東証株価指数）がわずかながら上昇するなど、海外市場に比べて堅調でした。ただ、月の後半は米国株の下落などに引きずられ、大きく押し戻されました。為替市場では、欧州景気の悪化懸念でユーロが軟調だった一方、米ドルは金利上昇を受けて若干上昇しました。

## 運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は小幅な下落となりました。多めに組み入れている日本株は堅調でしたが、欧州株の値下がりや円換算でやや大きかったこと、さらには組入ファンドが市場以上に値下がりしたことが響きました。売買は見送りました。月末の組入比率は85.8%と、前月末から低下しました。

## 今後の見通し

このところの株価下落を受けて、「そろそろ買いタイミングか」と考えている投資家が増えていると想像できますし、年末に向けて回復する傾向があるという季節性も考えますと、株価が一旦反発する可能性はありそうです。ただ、本格的な上昇開始はまだ先で、どちらかと言えばもう一段の下落もあり得ると見えています。このように慎重な見方をしている最大の理由は、米国株の調整が不十分だということにあります。金利が上昇していることを考え合わせますと、利益や配当金と比べた株価の水準は依然としてかなり割高であると思われる。

景気の現状と先行きについては楽観論が見られますが、家計に余裕がなくなりつつあることは気がかりです。コロナ禍への経済対策として支給された巨額の現金（小切手）で積み上がっていた、いわゆる「超過貯蓄」は、すでにかかり取り崩され、間もなくほぼ枯渇する見通しです。学生ローンの返済猶予措置も打ち切られて10月から返済が再開されます。コロナ明け後に消費は盛り上がりましたが、その反動が今後広がる可能性がありそうです。

インフレはかなり収まってきましたが、最近の原油価格高でガソリンが値上がりするなど、インフレ率の急低下はとりえず一巡した感があります。FRB（連邦準備制度理事会）は、インフレ率の一層の低下を目指しており、高水準の政策金利を当面維持すると見られます。景気が悪化しても金融緩和が期待しにくい状況と言えます。

中国や欧州でも景気回復の兆しは見えておらず、世界経済は低調な状態がもう少し続く可能性が大きいので、当面はやや慎重な投資姿勢を維持したいと考えています。ただ、余裕資金が資産全体の15%程度まで高まっていますので、予想しているような値下がり場面があれば投資の好機ととらえ、買い増しを検討していく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

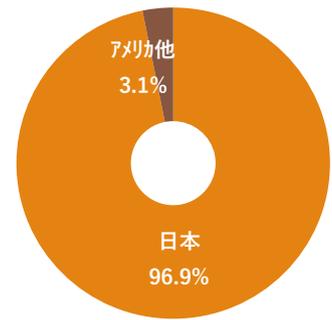
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



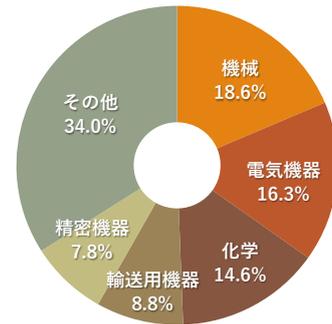
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等     | 比率    | 国籍  | 業種    | 業務内容等         |
|-----------|-------|-----|-------|---------------|
| 1 信越化学工業  | 4.2%  | 日本  | 化学    | 塩化・シリコンエー世界大手 |
| 2 ダイキン工業  | 3.9%  | 日本  | 機械    | エアコン世界首位      |
| 3 プリヂェストン | 3.7%  | 日本  | ゴム製品  | タイヤ世界大手       |
| 4 トヨタ自動車  | 3.5%  | 日本  | 輸送用機器 | 自動車世界大手       |
| 5 浜松ホトニクス | 3.4%  | 日本  | 電気機器  | 光検出器の世界的企業    |
| 6 ディスコ    | 3.2%  | 日本  | 機械    | 半導体等の切削・研磨装置  |
| 7 テルモ     | 3.0%  | 日本  | 精密機器  | 医療機器 (カテーテル)  |
| 8 INPEX   | 3.0%  | 日本  | 鉱業    | 石油・天然ガス開発     |
| 9 ニデック    | 2.4%  | 日本  | 電気機器  | 精密モーター世界首位    |
| 10 花王     | 2.1%  | 日本  | 化学    | トイ列-首位        |
| 上位10銘柄    | 32.2% | 現金等 | 13.6% |               |

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年9月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



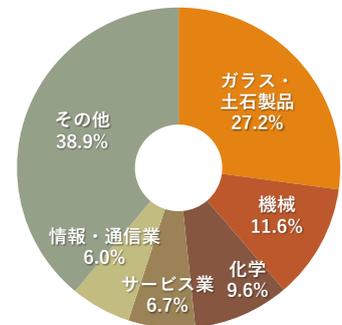
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

| 組入銘柄等        | 比率 | 国籍 | 業種       | 業務内容等          |
|--------------|----|----|----------|----------------|
| メック          |    | 日本 | 化学       | 電子基板用薬品        |
| クマイイ化学工業     |    | 日本 | 化学       | 国内農業大手         |
| 東洋炭素         |    | 日本 | ガラス・土石製品 | 特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛) |
| MARUWA       |    | 日本 | ガラス・土石製品 | セラミック基板世界トップ   |
| フジインコーポレーテッド |    | 日本 | ガラス・土石製品 | 半導体用研磨材等       |
| 竹内製作所        |    | 日本 | 機械       | 小型建設機械         |
| マックス         |    | 日本 | 機械       | 鉄筋結束機、スケーラー    |
| ニチハ          |    | 日本 | ガラス・土石製品 | 窯業系外装材         |
| トーセイ         |    | 日本 | 不動産業     | 不動産流動化・開発・賃貸等  |
| 京成電鉄         |    | 日本 | 陸運業      | 東京・千葉方面の大手私鉄   |
| 現金等          |    |    | 5.7%     |                |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年8月末現在 >

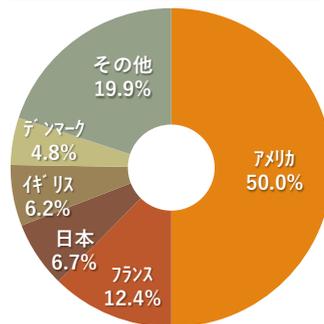
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



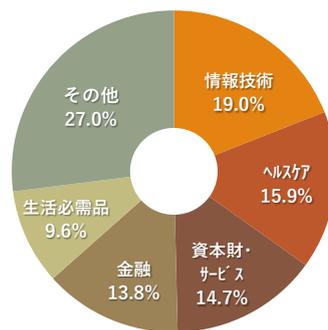
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等           | 比率    | 国籍    | 業種             | 業務内容等            |
|-----------------|-------|-------|----------------|------------------|
| 1 Novo Nordisk  | 2.8%  | デンマーク | ヘルスケア          | 糖尿病薬等世界首位        |
| 2 Microsoft     | 2.6%  | アメリカ  | 情報技術           | 世界最大のコンピューター・ソフト |
| 3 Broadcom      | 2.4%  | アメリカ  | 情報技術           | 無線・通信向け半導体等      |
| 4 Alphabet      | 2.4%  | アメリカ  | コミュニケーション・サービス | グーグルの持株会社        |
| 5 Apple         | 2.1%  | アメリカ  | 情報技術           | デジタル機器・ソフト大手     |
| 6 AstraZeneca   | 1.8%  | イギリス  | ヘルスケア          | 薬品会社             |
| 7 Safran        | 1.8%  | フランス  | 資本財・サービス       | 航空・宇宙・防衛用エンジン等   |
| 8 ASML          | 1.7%  | オランダ  | 情報技術           | 半導体製造装置メーカー      |
| 9 TotalEnergies | 1.5%  | フランス  | エネルギー          | 国際巨大石油資本の一角      |
| 10 SAP          | 1.2%  | ドイツ   | 情報技術           | ビジネス向けソフトウェア大手   |
| 上位10銘柄          | 20.3% | 現金等   | 6.2%           |                  |

業種別構成比



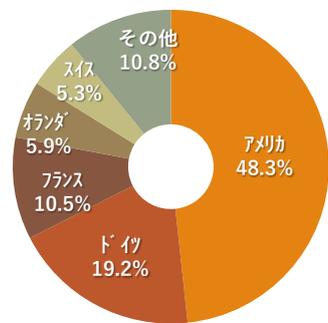
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年8月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



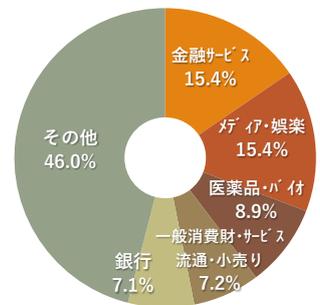
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等                    | 比率    | 国籍   | 業種           | 業務内容等          |
|--------------------------|-------|------|--------------|----------------|
| 1 CHARTER COMMUNICATIONS | 4.9%  | アメリカ | メディア・娯楽      | ケーブルテレビ、携帯電話   |
| 2 ALPHABET               | 4.8%  | アメリカ | メディア・娯楽      | グーグルの持株会社      |
| 3 BNP PARIBAS            | 4.1%  | フランス | 銀行           | フランス大手銀行       |
| 4 CONOCOPHILLIPS         | 3.3%  | アメリカ | エネルギー        | 国際巨大石油資本の一角    |
| 5 CNH INDUSTRIAL         | 3.3%  | オランダ | 資本財          | 農機・建機メーカー      |
| 6 MERCEDES-BENZ          | 3.3%  | ドイツ  | 自動車・自動車部品    | 自動車世界大手        |
| 7 FISERV                 | 3.2%  | アメリカ | 金融サービス       | 金融機関向け情報処理サービス |
| 8 BAYER                  | 3.2%  | ドイツ  | 医薬品・バイ       | 大手化学医薬品メーカー    |
| 9 FRESENIUS              | 3.1%  | ドイツ  | ヘルスケア機器・サービス | 透析医療サービス・関連製品  |
| 10 ALLIANZ               | 2.7%  | ドイツ  | 保険           | 総合保険大手         |
| 上位10銘柄                   | 36.1% | 現金等  | 4.6%         |                |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年8月末現在>

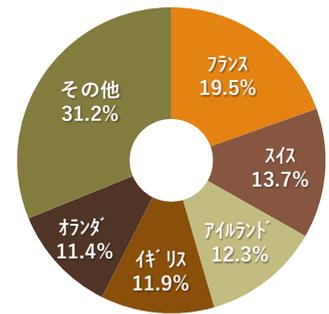
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



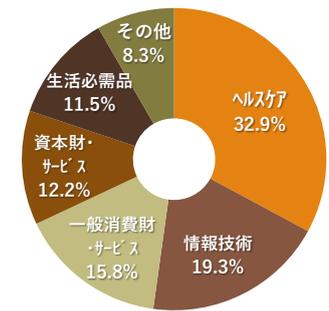
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等              | 比率           | 国籍         | 業種          | 業務内容等             |
|--------------------|--------------|------------|-------------|-------------------|
| 1 NOVO NORDISK     | 8.2%         | デンマーク      | ヘルスケア       | 糖尿病薬等世界首位         |
| 2 ASML             | 7.2%         | オランダ       | 情報技術        | 半導体製造装置メーカー       |
| 3 LINDE            | 4.9%         | ドイツ        | 素材          | 産業ガス世界大手          |
| 4 ESSILORLUXOTTICA | 4.8%         | フランス       | ヘルスケア       | 光学製品              |
| 5 ACCENTURE        | 4.7%         | アイルランド     | 情報技術        | 総合コンサルティング会社      |
| 6 ALCON            | 4.2%         | スイス        | ヘルスケア       | 眼科医療機器・薬剤         |
| 7 LVMH             | 4.2%         | フランス       | 一般消費財・サービス  | ファッション等高級ブランド世界大手 |
| 8 STRAUMANN HD     | 3.8%         | スイス        | ヘルスケア       | 歯科インプラントメーカー      |
| 9 EXPERIAN         | 3.0%         | 米国         | 資本財・サービス    | データベース・分析ツールの提供   |
| 10 HEINEKEN        | 2.9%         | オランダ       | 生活必需品       | ビール生産世界大手         |
| <b>上位10銘柄</b>      | <b>47.8%</b> | <b>現金等</b> | <b>1.2%</b> |                   |

業種別構成比(マザーファンド)



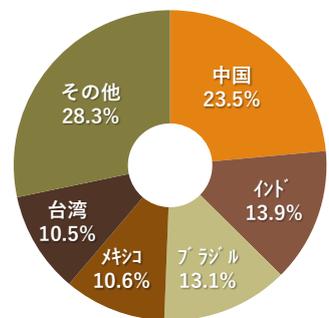
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年9月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等                 | 比率           | 国籍         | 業種             | 業務内容等           |
|-----------------------|--------------|------------|----------------|-----------------|
| 1 FOMENTO ECONOMICO   | 6.0%         | メキシコ       | 生活必需品          | 飲料、コンビニチェーン     |
| 2 SAMSUNG ELECTRONICS | 5.6%         | 韓国         | 情報技術           | 家電・電子部品大手       |
| 3 TSMC ADR            | 5.6%         | 台湾         | 情報技術           | 半導体メーカー         |
| 4 DELTA ELECTRONICS   | 4.7%         | 台湾         | 情報技術           | 電源、変圧器          |
| 5 MARUTI SUZUKI       | 4.4%         | インド        | 一般消費財・サービス     | スズキの子会社         |
| 6 HDFC BANK           | 4.0%         | インド        | 金融             | インド最大手の住宅開発金融会社 |
| 7 MERCADOLIBRE        | 3.9%         | アルゼンチン     | 一般消費財・サービス     | 中南米中心のEコマース企業   |
| 8 NETEASE             | 3.8%         | 中国         | コミュニケーション・サービス | オンラインゲーム        |
| 9 INNER MONGOLIA YILI | 3.8%         | 中国         | 生活必需品          | 乳製品国内大手         |
| 10 TENCENT            | 3.6%         | 中国         | コミュニケーション・サービス | ソーシャルネットワーク等    |
| <b>上位10銘柄</b>         | <b>45.4%</b> | <b>現金等</b> | <b>2.8%</b>    |                 |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年9月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### 取引残高報告書について

今回、「2023年7月～9月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

- ※ 口座に残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎に「取引残高報告書」にてご報告いたします。

#### 「お取引の明細と預り金の残高明細」の見方

記載対象期間内にお取引された明細および作成日現在のお預り金の残高です。

- ※ 最後に表示される「お預り金」につきましては、“作成日現在”でユニオンファンドの買付が完了していない場合にはその金額が、完了している場合には「0円」が表示されます。

#### 「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

| 銘柄名      | 数量   | 評価金額合計 [a] | 運用損益[a-b+c]            | 円 |
|----------|------|------------|------------------------|---|
|          | 基準価額 | 投資金額 [b]   | ※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出 |   |
| ( 預り区分 ) | 評価金額 | 受取金額 [c]   |                        |   |
| ( 決算日 )  | 取得単価 | 個別元本       |                        |   |

|             |  |
|-------------|--|
| 数量          | ユニオンファンドの残高口数です。   |
| 基準価額        | 作成日（2023年9月29日）現在の基準価額です。  |
| 評価金額        | 作成日現在の残高の「評価金額」です。<br>（「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）            |
| 取得単価・個別元本   | これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。<br>一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。       |
| 評価金額合計 [a]  | 評価金額の合計です。   |
| 投資金額 [b]    | ご購入された金額の累計です。<br>※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。 |
| 受取金額 [c]    | ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。<br>※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。               |
| 運用損益[a-b+c] | 作成日現在の運用損益です。<br>「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」                       |

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8%±0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。